

令和2年9月10日

保護者様

我孫子市立我孫子第一小学校
校長 山口 祐子

2学期以降の音楽科の学習について

秋涼の候、保護者の皆様には益々ご健勝のことと存じます。日頃より本校の教育に対しましてご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、『学校の新しい生活様式』（文部科学省）にて慎重な実施の検討が求められている歌唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカなどの吹奏楽器の演奏について、下記のとおり対策を講じながら再開しますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願ひします。

記

1. 歌唱

- ・基本的にはマスクを着けて、座席の間隔を前後1.5m取って歌唱する。
- ・飛沫リスクの少ないハミングや母音唱から行う。
- ・連続で15分以上歌わないようにする。

☆歌唱による飛沫距離：会話は最大1m。このことから、日常生活の安全距離は1.5m。

咳は、3mであるので大きな音量発声をした場合でも、2mを飛沫感染に対する安全距離とみなすことができる。（身長190cmの男性歌手）

2. リコーダー

- ・通常の演奏はほとんど飛沫が見られないので、少しずつ取り入れていく。ただし、高音域に多少の飛沫が見られるので、高い音はあまり使わないようにする。
- ・座席の間隔を前後1.5m取って、前を向いて取り組ませる。
- ・楽器が温まるとリコーダーの先から水分が垂れ落ちることがあるので、リコーダーの下に個人持ちの小さめのタオルなどを広げ、水分が垂れてきた場合に受けるようにする。タオルは、他の人に触れないように気をつけさせる。
- ・全体での演奏は、10分程度とする。

ご用意していただく物（3年生以上）

○リコーダー内部をそうじするガーゼ（そうじ棒に巻き付けられる長さ）、ガーゼハンカチなど

○床に敷くタオル

○ガーゼ、タオルを入れて持ち帰るビニール袋か巾着袋

※持ち帰った物は洗濯をして持ってきてください。

3. 鍵盤ハーモニカ

楽器からの飛沫はほとんど観測されないが、マウスピースの扱いが低学年には難しいので今年度は鍵盤ハーモニカは使用せず、歌唱や打楽器を工夫して行う。

